



八頭中 サプライズライブ開催

届け!! やずsmile! 新時代は君たちのものだ!

～コロナ禍で過ごした学校生活。3月15日、八頭中生の笑い声が全国に届きますように～

コロナ禍、子どもたちはマスク着用や行事の縮小など、さまざまな制約の中で学校生活を送りました。

このような中でも「一生懸命がカッコいい」を学校スローガンに勉強と部活に励んできた生徒の皆さんに、楽しい思い出を作ってもらおうと、八頭町×吉本興業×TSKによるサプライズライブを3月15日(水)に八頭中学校で開催しました。

ゲストには、人気お笑い芸人「おぼたのお兄さん」と「鬼越トマホーク」が登場。先生や生徒との共演もあり、会場は歓声と笑いの渦に包まれました。ネタ披露のほかに、質問コーナー、サイン入りボールや記念撮影のプレゼントもあり、生徒の皆さんのはじける笑顔が見られました。

3月13日以降、マスク着用の取扱いが緩和されました。八頭町から一番に子どもたちの笑顔や元気な姿を発信することで、コロナ禍からの脱却に向けた町の取り組みを紹介していきます。この様子については、4月末に特集番組が放映される予定ですので、お楽しみに♪



SDGsパネルで啓発活動！

さあ、みんなで始めよう、SDGsのまちづくり

世界中の社会、経済、環境といった多くの課題解決に取り組むための持続可能な開発目標（SDGs）を表示したパネルとSDGsボックスを作成しました。地域住民の皆さんの目に触れる場所に展示して、SDGsの取り組みを啓発していきます。

パネルには、SDGsの特徴や要素、家庭での具体的な実践方法のほか、「第2期八頭町総合戦略」の5つの柱となる重点目標の取り組みの方向性とそれに関連するSDGsのゴール（目標）を表示しています。八頭町は企業や団体、学校、住民などと連携して、地方からSDGsを推進するとともに、地域の課題解決と地域創生を目指しています。

SDGsの取り組みは、何気ない日常の中であって、すでに普段の生活習慣となっていることも多くあります。私たち一人一人が意識して行動することがSDGsの達成に近づきます。この取り組みが地域にとって身近な存在となり、SDGsのまちづくりにつながるよう推進していきます。



SDGsパネル・SDGsボックス

SDGsパネル一部紹介

SDGs（持続可能な開発目標）とは

「SDGs（Sustainable Development Goals）」

（持続可能な開発目標）とは、2015年9月に国連で採択された2030年に向けた世界共通の目標です。

SDGsは、「誰ひとり取り残さない」ことを理念に掲げ、全17のゴール（目標）で構成されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



特に日本との関係が深い目標例

- 成長・雇用
- グリーンエネルギー
- イノベーション
- 循環型社会
- 温暖化対策
- 女性の活躍 など

世界中の人たちがより良い生活を送るために世界中のみんなが一緒に取り組んでいく目標なんだね！



家庭でもSDGsを実践！

例えば、このようなちょっとした心がけも、SDGsを考えるきっかけに

1 貧困をなくそう	周囲の家庭に目をむけてみよう	10 人々の平等を促進しよう	様々な文化について知り、触れてみよう
2 飢餓をゼロに	フードバンク事業などへ協力しよう	11 住み続けられるまちづくりを	ハザードマップや避難所を確認しておこう
3 すべての人に健康と福祉を	自分の家族の健康チェックをしよう	12 つくって使いつぶさない	モノを大切にしよう
4 質の高い教育をみんなに	図書館へ行ってみよう	13 気候変動に具体的な対策を	熱中症を予防しよう
5 ジェンダー平等を促進しよう	家族の分担を考えてみよう	14 海の豊かさを守ろう	買い物のときはマイバックを持参しよう
6 安全な水とトイレを世界中に	洗剤の使用量を適切に	15 陸の豊かさも守ろう	地域の豊かな自然に触れよう
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	こまめに節電しよう	16 平和と公正をすべての人に	選挙に参加しよう
8 働きがいも経済成長も	上手に働き、しっかり休もう	17 パートナーシップで目標を達成しよう	地域の活動に参加しよう
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	公共交通機関を利用しよう		自分だけではなく、自然や生き物、いろいろな国のことまで考えることが大切です。